

景観開花。設計競技 テーマ「川」

応募要項

1 はじめに

戦後の高度経済成長期に早急な社会基盤の整備が求められ、土木技術者は、場所性を無視した画一的な土木構造物を量産せざるを得なかった。現在、こうした高度成長期の呪縛から解き放たれた土木デザインも増えつつある。それでも、社会全体から見ればそれはほんの一握りである。高度成長期の考え方に呪縛されたまま、興味がないというよりむしろ、土木デザインに触れる機会がない技術者がほとんどだろう。

市民からも環境意識の向上、生活のゆとりや豊かさといった新たなニーズが生まれ、土木デザインも重要な要素として求められるようになってきた。

そこで、本「設計競技」ならびに「パネルディスカッション」を行うことで土木デザインに関心のある若年の力を試す場を提供すると同時に、多くの人々に土木デザインの可能性を示すことを趣旨とする。

2 課題

テーマ「川」

私たちは、川が存在なくしては日本の都市の発達を語ることはできない。本来、人と川との関係は密接であるはずだ。

しかし、治水・利水を優先した河川の整備や画一的な土木施設・都市施設の建設によって、川と人との関係は希薄になってしまった。

これからの「川と人さらに都市との関係」はどうあるべきか。新時代にふさわしい河川を創りだすための空間構成や構造物を提案してほしい。

設計条件

1. デザインの対象となる空間・構造物は任意で、種類、規模、提案する範囲はすべて自由とするが、現実の場所を各自選定し、周辺の風景への収まりを十分考慮した上で提案すること。
2. 既存の河川空間における「川と人さらに都市との関係」には見られない独自のアイデアを盛り込むこと。

3 応募資格

- ・ 2006年8月1日現在、大学・大学院・短大・高等専門学校・専門学校・高校に籍をおく学生、及び社会人で経験年数5年以下の方。グループでの応募可。
- ・ 2006年11月3日に仙台で行われる公開最終審査会に参加できること。

4 提出物

以下3点

1) 設計図面

提案の意図を表現する図面（縮尺は自由）および説明文。A1サイズ（594mm×839mm 縦横は問わない）のケント紙またはそれに類する厚紙1枚に収めること。パネル化は不可。

2) 設計模型

提案する構造物と周辺との関係が理解できる模型。縮尺は自由だが、模型サイズは1m²以内に収めること。

3) CD

図面データをpdfファイルに変換し、CD-Rにデータを移したものの。ファイル名は、代表者名とすること。

5 審査委員

委員長	篠原 修	政策研究大学院大学教授
委員	伊藤 登	(株)プランニングネットワーク代表取締役
	小野寺康	(有)小野寺康都市設計事務所代表
	本江正茂	東北大学大学院助教授

(敬称略五十音順)

6 賞金

最優秀賞(1点)・・・20万円 および記念品

優秀賞(1点)・・・10万円 および記念品

佳作(数点)・・・5万円 および記念品

以上、入賞作品の代表者(1名)には旅費を支給し、仙台で行われる公開最終審査会に招待します。(海外からの応募者が入賞された場合、支給される旅費は国内分のみとなります)

7 審査方法

一次審査会で図面・模型審査を行い、入賞作品を決定します。入賞作品の代表者には、公開最終審査会でプレゼンテーションを行なってもらい、各賞は、そのプレゼンテーションを踏まえて審査員が決定します。

一次審査の結果は、応募者全員に E-mail または書面で通知します。最終結果は公開最終審査会により発表後、WEB 上で発表することを予定しています。

8 応募方法

事前にメールによるエントリーが必要です。Web サイトのエントリーページにある登録用フォームをメール本文にコピーし、必要事項を明記した上、タイトルを「設計競技応募」として実行委員会宛（design@plan.civil.tohoku.ac.jp）に送信して下さい。エントリー完了後、確認のメールを送りますので、そのメールを印刷して図面、模型の裏面に貼付の上、郵送または持参してください。

9 スケジュール

エントリー受付開始（Web）	平成 18 年 7 月 24 日（月）
エントリー受付締め切り	平成 18 年 9 月 15 日（金）
提出締切（必着）	平成 18 年 10 月 11 日（水）
一次審査会	平成 18 年 10 月 13 日（金）
公開最終審査会	平成 18 年 11 月 3 日（金）

10 会場

公開最終審査会 宮城県建設産業会館

11 その他

- ・ 応募作品は未発表作品に限ります。
- ・ 提出物の返却は、指定の期間までに東北大学工学部土木工学科まで直接引き取りに来られる場合のみ受け付けます。
- ・ 応募作品の著作権は、応募者に帰属します。
- ・ 主催者および実行委員会は、本設計競技の趣旨の範囲内で著作権者名を明示した上で、報告書、記者発表資料、作品集、WEB 等を通じて、応募作品および提案されたアイデア、情報等を公表できるものとします。
- ・ 課題に対する質疑応答は受け付けません。規定外の問題は応募者の自由決定とします。
- ・ 模型並びに図面の郵送に関しては、サイズの大きさによって郵送費が異なります。そのため模型作製の際にはあらかじめ分割できるように作製し、ある程度模型を細かく分割して郵送できるようお勧めします。
- ・ 模型の組み立てが必要な場合は、必ず説明書を同封してください。

12 問い合わせ及び提出先

東北大学 建築・社会環境工学科 交通制御学研究室
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6 - 6 - 0 6

交通制御学研究室 景観開花。実行委員会

tel. 022-795-7496 fax. 022-795-7494 mail. design@plan.civil.tohoku.ac.jp

URL. <http://www.plan.civil.tohoku.ac.jp/~design/>

13 主催者等

主 催 景観開花。実行委員会

実行委員会 東北大学工学部建築・社会環境工学科 平野研究室

(社)土木学会景観・デザイン委員会

(社)土木学会東北支部

(社)東北建設協会

協 賛 未定

協 力 未定

後 援 国土交通省東北地方整備局

以上